

1 事業概要

Table with 4 columns: Policy System, Broad Business, Means, and Intent/Purpose. It details the project's goals and strategies for revitalizing the central city area.

Table with 4 columns: Business Start Environment (Background), Current Environment, Future Environment (Forecast), and Resident Intent Analysis. It provides context for the project's implementation.

2 事業進捗等（指標等推移）

Large data table showing progress metrics from 2017 to 2025. It includes columns for activity indicators, results, and financials, with a summary row at the bottom.

Table with 3 columns: Activity Indicator Analysis Results, Result Indicator Analysis Results, and Total Business Fee Analysis Results. It provides a detailed breakdown of performance and costs.

3 一次評価（部局内評価）

Section 3.1: Business Method Evaluation. Includes a table of criteria (Scale, Fairness, Efficiency, etc.) and a radar chart showing performance levels.

Section 3.2: Business Continuity Evaluation. Includes a 2x2 matrix chart with 'Replacement Business' on the y-axis and 'Necessity' on the x-axis.

Section 3.3: Business Classification. A box titled 'Regular Business' containing a comment on the project's status and future management cycle.

4 二次評価

Section 4.1: Business Method Evaluation. Similar to 3.1, but with updated performance scores and a different radar chart.

Section 4.2: Business Continuity Evaluation. Similar to 3.2, but with updated data points on the matrix chart.

Section 4.3: Business Classification. A box titled 'Regular Business' containing a more detailed comment on the project's progress and future plans.

1 事業概要

Table with 4 columns: Policy System, Broad Business, Method, and Intent/Purpose. It details the business overview for the urban planning map update project.

Table with 4 columns: Business Start Environment (Background), Current Environment, Future Environment (Forecast), and Resident Intent Analysis. It provides context for the business.

2 事業進捗等（指標等推移）

Large data table showing progress and metrics. It includes columns for various planning periods (2017-2022) and metrics like activity indicators, results, and costs.

Table with 3 columns: Activity Indicator Analysis Results, Result Indicator Analysis Results, and Total Business Cost Analysis Results. It summarizes the performance and costs.

3 一次評価（部局内評価）

Section 3.1: Business Method Evaluation. Includes a table of criteria (Scale, Fairness, Efficiency, etc.) and a radar chart showing scores for each indicator.

Section 3.2: Business Continuity Evaluation. Includes a 2x2 matrix with 'Replacement Business Existence' on the y-axis and 'Cost' on the x-axis, with a circle in the bottom-right quadrant.

Section 3.3: Evaluation Summary. A box titled '継続' (Continuation) containing a comment on the business's progress and future plans.

4 二次評価

Section 4.1: Business Method Evaluation. Similar to section 3.1, it includes a table and a radar chart for a secondary evaluation.

Section 4.2: Business Continuity Evaluation. Similar to section 3.2, it includes a 2x2 matrix for a secondary evaluation.

Section 4.3: Evaluation Summary. A box titled '継続' (Continuation) containing a detailed comment on the business's progress and future plans.

1 事業概要

政策体系		広域事業	手段	意図(目的)
大綱(取組)	V「暮らしやすいまちの未来」	-	賑わいのあるまちなみにするため、土地の入れ替え・集約ができる都市再生区画整理事業を行う。事業用地の先行取得、建築物等調査算定業務、換地設計業務等を行い、同時に地区内権利者と協働でまちづくりを推進する。広報誌「まちづくりニュース」を地区内権利者を対象に適時発刊し、事業の情報を伝え、理解を得る。	本地区を魅力ある「郡山市の顔」とし、中心市街地の空洞化を防止し活性化を図る。
施策	4 豊かなまちなみがあり、誇りと魅力あふれるまち			

事業開始時周辺環境(背景)	現状周辺環境	今後周辺環境(予測)	住民意向分析
郡山駅前に至近という好立地条件にもかかわらず、低層木造住宅や空き店舗が目立ってきており、土地区画整理事業の手法による面的な整備を行い、都市機能の更新が望まれている。	周辺の整備事業としては、複数の市街地再開発事業、郡山駅東口広場整備事業が実施され、立地適正化計画による都市機能誘導区域が策定されている。	全国的な中心市街地の空洞化が問題視されているなか、未だ東日本大震災により被害を受けて修繕できていない建物等もあり、早急な事業の進捗が必要とされている。	将来に持続可能な効果的かつ効率的なまちづくりが早期に完了することが望まれている。

2 事業進捗等(指標等推移)

指標名	指標名	単位	第5次総合計画十次実施計画		まちづくり基本指針一次実施計画		まちづくり基本指針二次実施計画		まちづくり基本指針三次実施計画		まちづくり基本指針四次実施計画		まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針	
			2017年度(平成29年度)		2018年度(平成30年度)		2019年度(令和元年度)		2020年度(令和2年度)		2021年度(令和3年度)		2022年度(令和4年度)		中間指標	最終指標
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	2022年度	2025年度
対象指標	土地所有者(大町土地区画整理事業)	人		58		58										
活動指標①	建物移転戸数(単年度)	戸	3	2	4	6	1		6		6		3			
活動指標②	広報誌「まちづくりニュース」の発刊(累計)	回	40	39	41	40	42		43		44		45			
活動指標③																
成果指標①	事業費ベースの進捗率	%	32.8	34.6	38.3	38.9	56.9		59.6		65.1		71.8		71.8	100
成果指標②	仮換地指定率	%	16.8	18	19.8	24	28.4		31.5		47.2		54.3		54.3	100
成果指標③	公共施設整備率	%	0.0	0	0.0	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	100
単位コスト(総コストから算出)	事業費ベースの進捗率1%あたりのコスト	千円		81,009		63,929										
単位コスト(所要一般財源から算出)	事業費ベースの進捗率1%あたりのコスト	千円		81,009		44,132										
事業費		千円		101,903		255,031										
人件費		千円		19,611		19,865										
歳出計(総事業費)		千円		121,514		274,896		0		0		0		0		
国・県支出金		千円		0		85,130										
市債		千円		0												
受益者負担金(使用料、負担金等)		千円		0												
その他		千円		0												
一般財源等		千円		121,514		189,766										
歳入計		千円		121,514		274,896		0		0		0		0		
		実計区分	評価結果	継続	継続	継続	継続									

活動指標分析結果	成果指標分析結果	総事業費分析結果
仮換地の指定により、計画を上回る建物移転が実施された。今後も仮換地指定を進めることにより、建物移転が行われ、公共用地が確保できる。	交付金の配分があったことから、計画以上の仮換地指定及び建物移転の進捗が図られ、事業費ベースの進捗率が4.3%上昇し計画値を上回った。	当該事業では、都市計画道路に社会資本整備総合交付金を充てて事業を進めているが、平成30年度は交付金の配分があったため、前年度より事業費が増額となり、計画を上回る建物移転が実施でき、事業を更に進捗させることが出来た。

3 一次評価(部局内評価)

(1) 事業手法評価

1 規模・方法の妥当性	4
2 公平性	4
3 効率性	4
4 成果指標(目的達成度)	4
5 活動指標(活動達成度)	4

(2) 事業継続性評価

代替事業の有無

ニース

継続

【一次評価コメント】
平成28年度に縦覧を実施した一部区域の仮換地案に基づき、平成30年度は6画地の仮換地指定を行い、6戸の建築物移転を行ったことから、事業の進捗が図られた。今後も権利者の理解と協力を得ながら、都市計画道路日の出通り線の早期の供用を目指し事業を進める。

4 二次評価

(1) 事業手法評価

1 規模・方法の妥当性	4
2 公平性	4
3 効率性	4
4 成果指標(目的達成度)	4
5 活動指標(活動達成度)	4

(2) 事業継続性評価

代替事業の有無

ニース

継続

【二次評価コメント】
当該事業は、郡山駅の西側に隣接し、恵まれた立地条件を有する大町地区について、土地区画整理事業により面的な整備を行い、市街地の活性化を図るものである。平成30年度は、社会資本整備総合交付金の配分を受けて事業費が増加したことにより、計画を上回る6戸の建物移転を行ったところであり、令和元年度は大規模建築物の移転を予定しており、より一層の事業の推進が見込まれる。今後も都市計画道路「日の出通り線」の早期の供用を目指し、令和7年度の事業完了に向けて、魅力ある「郡山市の顔」を形成するため、継続して事業を実施する。

1 事業概要

政策体系		広域事業	手段	意図（目的）
大綱（取組）	V「暮らしやすいまちの未来」	-	土地区画整理事業施行地区内の道路等の公共施設整備、建物移転、宅地整地及び保留地売却を行う。	都市計画道路等の整備による公共施設の適正な配置を行い、計画的な秩序ある市街地形成と快適で調和のとれた街づくりを図る
施策	4 豊かなまちなみがあり、誇りと魅力あふれるまち			

事業開始時周辺環境（背景）	現状周辺環境	今後周辺環境（予測）	住民意向分析
市街化区域でありながら、ほとんどが農地であり、民間開発による、住居が点在していた。	専用住宅、共同住宅、営業所、事務所、商業施設、病院等の建設が進み健全な住環境が形成されている。	都市計画道路、公共下水道の整備及び商業施設等の建設が進められ、今後においては公園等の整備により良好な市街地の形成が実現される。	土地区画整理事業により公共施設の整備、良好な住宅地が形成され地区住民への恩恵をもたらしていることから、満足度が高い。一部の権利者と換地について意見調整を必要とするところがある。

2 事業進捗等（指標等推移）

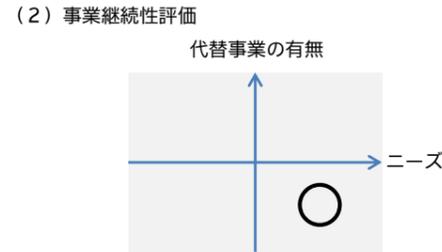
指標名	指標名	単位	第5次総合計画十次実施計画		まちづくり基本指針一次実施計画		まちづくり基本指針二次実施計画		まちづくり基本指針三次実施計画		まちづくり基本指針四次実施計画		まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針		
			2017年度（平成29年度）		2018年度（平成30年度）		2019年度（令和元年度）		2020年度（令和2年度）		2021年度（令和3年度）		2022年度（令和4年度）		中間指標	最終指標	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	2021年度	2025年度	
対象指標	土地の権利者数	人		528		528											
活動指標①	道路整備延長（単年度）	m	238	238	0	0	0	0	0	0	0	0					
活動指標②	建物移転戸数（単年度）	戸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
活動指標③	保留地売却箇所数（単年度）	箇所	5	0	2	4	9	4	4	4	4	4					
成果指標①	事業費ベースの進捗率	%	100.0	95.8	100	96.4	100	100	100	100	100	100			100	100	
成果指標②	仮換地指定率	%	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			100	100	
成果指標③	保留地売却箇所数（累計）	箇所	130	125	130	129	141	145	149	149	149	149			149	151	
単位コスト（総コストから算出）	事業費ベースの進捗率1%あたりのコスト	千円		119,505		149,988											
単位コスト（所要一般財源から算出）	事業費ベースの進捗率1%あたりのコスト	千円		119,505		149,988											
事業費		千円		173,037		69,476											
人件費		千円		18,171		20,517											
歳出計（総事業費）		千円		191,208		89,993		0		0		0		0		0	
国・県支出金		千円		0		0											
市債		千円		0		0											
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円		0		0											
その他		千円		0		0											
一般財源等		千円		191,208		89,993											
歳入計		千円		191,208		89,993		0		0		0		0		0	
		実計区分	評価結果	継続	継続	継続	継続										

活動指標分析結果	成果指標分析結果	総事業費分析結果
土地区画整理事業として必要な道路整備は完了している。売却可能な保留地整地が実施されたことから、保留地販売を行った。	保留地整地が実施されたため、保留地売却を行った。保留地を含む宅地整地を実施したことにより、事業の進捗が図られた。	事業費については、平成29年度に必要な道路整備が完了し、平成30年度は道路管理者への引継ぎに必要な維持補修に関する費用のみとなり、工事費が減少したため、平成29年度事業費を下回った。

3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価

1 規模・方法の妥当性	4
2 公平性	4
3 効率性	3
4 成果指標（目的達成度）	4
5 活動指標（活動達成度）	4



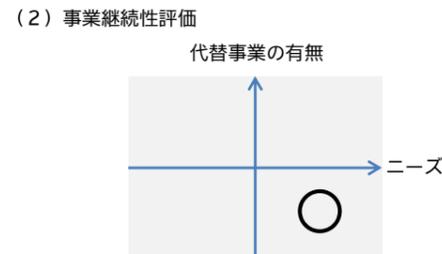
継続

【一次評価コメント】
保留地を含む整地が必要な宅地があることから、引き続き宅地整地を行う。地区内の公共施設整備が概ね完了したことから、今後は出来形測量等の換地処分に向けた事務に着手する。

4 二次評価

(1) 事業手法評価

1 規模・方法の妥当性	4
2 公平性	4
3 効率性	3
4 成果指標（目的達成度）	4
5 活動指標（活動達成度）	4



継続

【二次評価コメント】
当該事業は、国道49号、郡山インター線及び諏訪前西ノ山線を幹線道路として整備し、快適で調和のとれた街づくりを推進するものである。
平成30年度は、前年度までに整備完了した道路について、道路管理者への引継ぎに必要な維持補修のみを行ったところである。
今後においても、令和3年度の換地処分完了に向けて出来形測量等の事務を進めるため、継続して事業を実施する。

1 事業概要

政策体系		広域事業	手段	意図（目的）
大綱（取組）	V「暮らしやすいまちの未来」	-	土地区画整理事業施行地区内の道路等の公共施設整備、建物移転、宅地整地及び保留地売却を行う。	中心市街地と周辺部を結ぶ交通体系の確立と計画的な都市基盤の整備により、水害等の災害の防止を図り、健全で新しい市街地の形成に努める
施策	4 豊かなまちなみがあり、誇りと魅力あふれるまち			

事業開始時周辺環境（背景）	現状周辺環境	今後周辺環境（予測）	住民意向分析
中心市街地から近郊に位置しており、中心市街地と周辺部を結ぶ幹線道路等の整備と計画的な市街地整備が必要な地域だった。	土地区画整理事業が進み道路、公園等の整備により健全な居住環境として形成してきている。都市計画道路東部幹線の早期開通が望まれている。	さらなる土地区画整理事業の推進により、周辺地区との道路網の確立に併せた一体的な都市基盤の整備が具現化される。この面的整備の促進により安全・安心で快適な生活基盤が整備される。	土地区画整理事業が長期間継続しているため、一部権利者から移転先の宅地整地、区画道路の整備についての要望が出されるなど、早期の事業完了が望まれている。

2 事業進捗等（指標等推移）

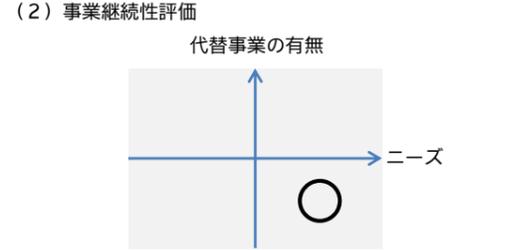
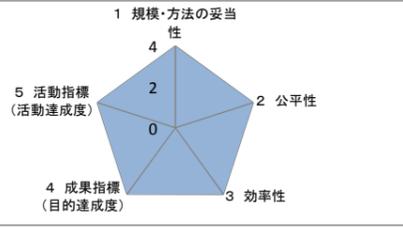
指標名	指標名	単位	第5次総合計画十次実施計画		まちづくり基本指針一次実施計画		まちづくり基本指針二次実施計画		まちづくり基本指針三次実施計画		まちづくり基本指針四次実施計画		まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針		
			2017年度（平成29年度）		2018年度（平成30年度）		2019年度（令和元年度）		2020年度（令和2年度）		2021年度（令和3年度）		2022年度（令和4年度）		中間指標	最終指標	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	2022年度	2025年度	
対象指標	土地の権利者数	人		402		402											
活動指標①	道路整備延長（単年度）	m	15.0	15	87.6	88	150.0		0.0		0.0		710.9				
活動指標②	建物移転戸数（単年度）	戸	3	3	2	2	0		2		0						
活動指標③																	
成果指標①	事業費ベースの進捗率	%	84.6	76.5	89.0	80.3	90.0		92.2		94.5		97.0		97.0	100	
成果指標②	仮換地指定率	%	80.4	80.9	80.4	81.6	80.4		80.4		80.4		80.4		95.0	100	
成果指標③	道路整備延長（累計）	m	7,864.9	7,865	7,952.6	7,953	8,102.6		8,120.6		8,120.6		8,813.5		8,813.5	10,989	
単位コスト（総コストから算出）	事業費ベースの進捗率1%あたりのコスト	千円		139,889		148,775											
単位コスト（所要一般財源から算出）	事業費ベースの進捗率1%あたりのコスト	千円		129,363		117,144											
事業費		千円		243,031		538,858											
人件費		千円		22,758		26,488											
歳出計（総事業費）		千円		265,789		565,346		0		0		0		0			
国・県支出金		千円				100,197											
市債		千円															
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円		20,000		20,000											
その他		千円															
一般財源等		千円		245,789		445,149											
歳入計		千円		265,789		565,346		0		0		0		0			
	実計区分	評価結果		継続		継続											

活動指標分析結果	成果指標分析結果	総事業費分析結果
当該地区では、都市計画道路東部幹線整備を中心に事業を進めているが、平成30年度は郡山インター線から東部幹線の橋梁区間の工事箇所に乗入れ可能となるように搬入路整備と郡山インター線の改良工事を行った。	道路整備、建物移転を実施したことにより、更なる道路整備や道路用地の確保、他の建物移転が可能となり、事業の進捗が図られた。仮換地を指定したことにより、建物移転が実施できた。	当該事業では、都市計画道路に社会資本整備総合交付金を充てて事業を進めているが、平成30年度は交付金の配分があったため、前年度より事業費が増額となり、道路整備、建物移転と実施でき、事業を更に進捗させることが出来た。

3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価

1 規模・方法の妥当性	4
2 公平性	4
3 効率性	4
4 成果指標（目的達成度）	4
5 活動指標（活動達成度）	4



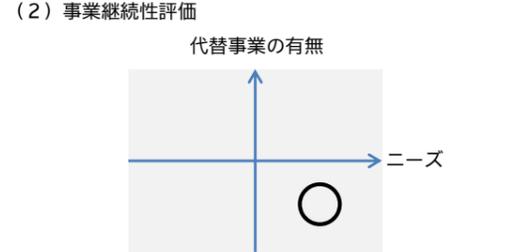
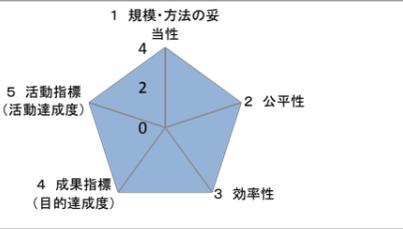
継続

【一次評価コメント】
当該事業では、地区内に位置する東部幹線の環状道路としての整備が急がれているが、整備効果を上げるためにも接続する道路の整備を併せて実施していく。地区内の権利者から換地先の土地利用や未整備宅地の維持管理について要望が出されているため宅地整地についても継続して実施し、事業の進捗を図る。

4 二次評価

(1) 事業手法評価

1 規模・方法の妥当性	4
2 公平性	4
3 効率性	4
4 成果指標（目的達成度）	4
5 活動指標（活動達成度）	4



継続

【二次評価コメント】
当該事業は、郡山インター線及び東部幹線を中心に面的な整備を行い、中心市街地と周辺部を結ぶ交通体系の確立と計画的な市街地整備を図るものである。平成30年度は、前年度より多くの社会資本整備総合交付金の配分を受け、東部幹線橋梁工事区間への搬入路整備、郡山インター線改良工事及び建物移転を行った。地区内の権利者から、移転先の宅地整地や道路整備について要望が出されており、都市基盤の整備を推進するためにも、継続して事業を実施する。

1 事業概要

政策体系		広域事業	手段	意図(目的)
大綱(取組)	V「暮らしやすいまちの未来」	-	お知らせ(まちづくり通信)を発行し事業状況を周知する。土地区画整理事業施行地区内の道路等の公共施設整備、建物移転、宅地整地及び保留地売却を行う。	中心市街地及び、国道49号へのアクセスと公共施設の整備改善を図り、無秩序に市街化が進む地区内を健全な都市基盤に整備する
施策	4 豊かなまちなみがあり、誇りと魅力あふれるまち			

事業開始時周辺環境(背景)	現状周辺環境	今後周辺環境(予測)	住民意向分析
当地区は、道路の道幅が狭いことから緊急車両が通行できない。大雨の際には内水被害を受け、さらには開発等により宅地のスプロール化が進んでいる。	土地区画整理事業が進み、道路整備が図られ徐々に市街地形成が進んでいる。都市計画道路笹川大善寺線の地区内と地区外部分で整備が進み、広域交流促進道路として供用が間近となっている。	土地区画整理事業の進捗により、幹線道路が整備され、地区内の更なる土地利用が図られる。地区内の道路整備と併せて河川の整備が実施されることにより、地区住民にとって安全、安心で快適な生活基盤が形成される。	多くの住民は協力的であり、幹線道路整備についても理解が得られている。一部の権利者とは事業の進め方、換地について意見の調整を必要とするが、全体としては、早期の宅地整地、公共施設整備を望んでいる。

2 事業進捗等(指標等推移)

指標名	指標名	単位	第5次総合計画十次実施計画		まちづくり基本指針一次実施計画		まちづくり基本指針二次実施計画		まちづくり基本指針三次実施計画		まちづくり基本指針四次実施計画		まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針	
			2017年度(平成29年度)		2018年度(平成30年度)		2019年度(令和元年度)		2020年度(令和2年度)		2021年度(令和3年度)		2022年度(令和4年度)		中間指標	最終指標
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	2022年度	2025年度
対象指標	土地の権利者数	人		439		439										
活動指標①	道路整備延長(単年度)	m	209.5	210	112.6	321	180.0		0.0		102.5		100.0			
活動指標②	建物移転戸数(単年度)	戸	2	2	2	1	0		0		0		0			
活動指標③																
成果指標①	事業費ベースの進捗率	%	40.4	40.4	45.9	45.2	46.8		48.7		51.7		53.6		53.6	100
成果指標②	仮換地指定率	%	52.9	55.1	52.9	55.2	52.9		52.9		52.9		52.9		52.9	100
成果指標③	道路整備延長(累計)	m	5,284.2	5,284	5,396.8	5,605	5,576.8		5,576.8		5,679.3		5,779.3		5,779.3	13,941
単位コスト(総コストから算出)	事業費ベースの進捗率1%あたりのコスト	千円		126,148		155,434										
単位コスト(所要一般財源から算出)	事業費ベースの進捗率1%あたりのコスト	千円		67,182		112,645										
事業費		千円		821,110		718,602										
人件費		千円		36,696		27,483										
歳出計(総事業費)		千円		857,806		746,085		0		0		0		0		
国・県支出金		千円		280,969		150,387										
市債		千円														
受益者負担金(使用料、負担金等)		千円		120,000		55,000										
その他		千円														
一般財源等		千円		456,837		540,698										
歳入計		千円		857,806		746,085		0		0		0		0		
		実計区分	評価結果	継続	継続	継続	継続									

活動指標分析結果	成果指標分析結果	総事業費分析結果
都市計画道路笹川大善寺線は優先的に整備を進めた結果、今年度に暫定供用が開始されるため、整備延長が上昇している。	他地区よりも優先的に事業費の配分を行い事業をすすめているため、事業の進捗率が上昇している。	市として都市計画道路笹川大善寺線の整備を優先に事業を進めているため、当該地区は他地区よりも事業費が多額になっている。平成30年度は供用開始を目指す中で未整備であった限られた箇所のみ施工となったことから事業費は前年度を下回った。

3 一次評価(部局内評価)

(1) 事業手法評価

1 規模・方法の妥当性	4
2 公平性	4
3 効率性	4
4 成果指標(目的達成度)	4
5 活動指標(活動達成度)	4

(2) 事業継続性評価

代替事業の有無

継続

【一次評価コメント】
都市計画道路笹川大善寺線が今年度に暫定供用が開始されるが、整備効果を上げるためにも、接続する他の都市計画道路、区画道路の整備に着手する必要がある。
道路整備を優先したため、宅地整地が遅れている区域があるため、建物移転、宅地整地を進める必要がある。

4 二次評価

(1) 事業手法評価

1 規模・方法の妥当性	4
2 公平性	4
3 効率性	3
4 成果指標(目的達成度)	4
5 活動指標(活動達成度)	4

(2) 事業継続性評価

代替事業の有無

継続

【二次評価コメント】
当該事業は、隣接する私立大学の影響により宅地化が進む一方で道路幅員が狭い徳定地区について、良好な住宅環境を目指し、道路や河川を含む面的整備を進めるものである。
平成30年度は、都市計画道路「笹川大善寺線」の暫定2車線での早期供用開始に向けて、道路整備を他地区よりも優先して実施した。建物移転戸数は計画値には至っていないが、1戸の移転を実現する等、事業として着実に進捗している。
「笹川大善寺線」の開通の見通しが立ったことから、今後は、当該路線に接続する道路の整備や宅地整地を推進するため、継続して事業を実施する。

1 事業概要

政策体系		広域事業	手段	意図(目的)
大綱(取組)	V「暮らしやすいまちの未来」	-	地域住民からの公園整備の要望を踏まえ、区画整理地内における公園予定地について、年次計画に基づき整備を進める。	地域住民の憩いの場、活動の場として、日常的な利用に供される都市公園の整備を図る。
施策	4 豊かなまちなみがあり、誇りと魅力あふれるまち			

事業開始時周辺環境(背景)	現状周辺環境	今後周辺環境(予測)	住民意向分析
市が行う公園整備事業の他、住宅団地開発や土地区画整理事業による公園整備も加わり、地域住民の憩いの場、活動の場としての整備が開始された。	土地区画整理事業区域内の公園予定地について、地域住民から憩いや遊び場としての公園整備の要望がある。	土地区画整理事業区域内の公園予定地については、未整備箇所があること、また、市街地近郊への公園整備の要望があることから、今後も継続的に公園の計画・整備が必要であると思われる。	こどもの遊び場となる小規模公園等、身近に利用できる公園の整備が望まれている。

2 事業進捗等(指標等推移)

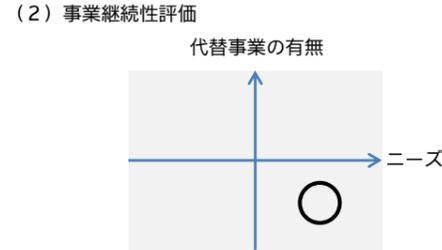
指標名	指標名	単位	第5次総合計画十次実施計画		まちづくり基本指針一次実施計画		まちづくり基本指針二次実施計画		まちづくり基本指針三次実施計画		まちづくり基本指針四次実施計画		まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針	
			2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)	2019年度(令和元年度)	2020年度(令和2年度)	2021年度(令和3年度)	2022年度(令和4年度)	中間指標	最終指標						
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	2021年度	2025年度
対象指標	整備が必要な公園数	箇所		31		31										
活動指標①	公園整備着手数(単年)	箇所	2	2	1	1	1		2		2			3		
活動指標②																
活動指標③																
成果指標①	街区公園整備率	%	35	35	39	39	45		52		58		68		58	90
成果指標②	公園整備数(累計)	箇所	11	11	12	12	14		16		18		21		18	28
成果指標③																
単位コスト(総コストから算出)	整備着手公園1箇所あたりのコスト	千円		7,215		9,848										
単位コスト(所要一般財源から算出)	整備着手公園1箇所あたりのコスト	千円		7,215		9,848										
事業費		千円		12,118		8,964										
人件費		千円		2,312		884										
歳出計(総事業費)		千円		14,430		9,848		0		0		0		0		
国・県支出金		千円		0		0										
市債		千円		0		0										
受益者負担金(使用料、負担金等)		千円		0		0										
その他		千円		0		0										
一般財源等		千円		14,430		9,848										
歳入計		千円		14,430		9,848		0		0		0		0		
		実区分	評価結果	継続	継続	継続	継続									

活動指標分析結果	成果指標分析結果	総事業費分析結果
計画通り1公園の整備を実施したため、公園整備数が増加した。	計画的に整備を実施したことから、公園整備率が増加し、公園の機能向上が図られた。	整備を実施した公園数が減少したこと、また、前年度に比べ単位コストは増加したものの、人件費が削減となったことから、総事業費が減額となった。

3 一次評価(部局内評価)

(1) 事業手法評価

1 規模・方法の妥当性	3
2 公平性	4
3 効率性	3
4 成果指標(目的達成度)	4
5 活動指標(活動達成度)	4



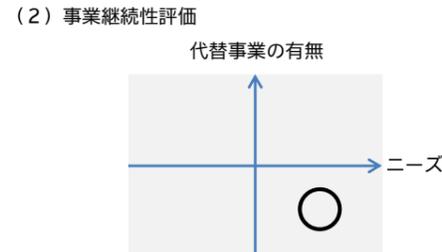
継続

【一次評価コメント】
地域住民から憩いや活動の場としての公園整備の要望があること、また、災害時には避難場所としての機能の確保ができることから、年次計画に基づき継続して事業を実施する。

4 二次評価

(1) 事業手法評価

1 規模・方法の妥当性	3
2 公平性	4
3 効率性	3
4 成果指標(目的達成度)	4
5 活動指標(活動達成度)	4



継続

【二次評価コメント】
当該事業は、地域住民からの公園整備の要望を踏まえ、区画整理地内における公園予定地について、年次計画に基づき整備を進めるものである。
平成30年度は、喜久田東原2号公園(0.33ha)の整備を行い、31箇所の整備が必要な公園のうち、累計12箇所の整備が完了した。
今後においても、区画整理によって対象公園の変更は生じるものの、令和8年度の事業完了を目指すため、計画的な進捗を図りながら継続して事業を実施する。

1 事業概要

Table with 4 columns: Policy System, Broad Business, Method, and Intent/Purpose. It details the project's goals and the specific measures taken for toilet renovation.

Table with 4 columns: Business Start Environment (Background), Current Environment, Future Environment (Forecast), and Resident Intent Analysis. It provides context for the project's timing and the needs of the community.

2 事業進捗等（指標等推移）

Large data table showing progress metrics from 2017 to 2025. It includes columns for activity indicators (e.g., number of toilets, UD renovation cases) and financial indicators (e.g., unit costs, total expenses).

Table with 3 columns: Activity Indicator Analysis Results, Outcome Indicator Analysis Results, and Total Expense Analysis Results. It summarizes the key findings from the data table above.

3 一次評価（部局内評価）

Section 3.1: Business Method Evaluation. Includes a table of scores for criteria like appropriateness, fairness, and efficiency, along with a radar chart showing performance levels.

Section 3.2: Business Sustainability Evaluation. A 2x2 matrix plotting 'Continuation' (継続) against 'Necessity' (ニーズ) for the business.

Section 3.3: Summary of First Evaluation. A box containing a 'Continuation' (継続) label and a comment explaining the decision based on the project's progress and future needs.

4 二次評価

Section 4.1: Business Method Evaluation. Similar to section 3.1, but with updated scores and a radar chart reflecting the second evaluation.

Section 4.2: Business Sustainability Evaluation. A 2x2 matrix showing the updated sustainability assessment.

Section 4.3: Summary of Second Evaluation. A box containing a 'Continuation' (継続) label and a detailed comment on the project's impact and future plans.

1 事業概要

政策体系		広域事業	手段	意図(目的)
大綱(取組)	V「暮らしやすいまちの未来」	-	公園の開設経過年数や施設の老朽化状況を踏まえ、市民のニーズに合わせた改修を計画的に進める。	老朽化した公園の施設について、「遊具の安全に関する規準」に基づく改修・更新を行い、遊具の安全確保及び公園の快適性の向上を図る。
施策	4 豊かなまちなみがあり、誇りと魅力あふれるまち			

事業開始時周辺環境(背景)	現状周辺環境	今後周辺環境(予測)	住民意向分析
公園の開設から長期間が経過したことにより、施設の老朽化が進み、既存公園のグレードアップ化(施設の改修・更新)が要求され、事業を開始した。	経年変化による施設の老朽化が著しく、安全で快適な利用環境が求められており、国交省の「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」が改訂(H26.6月)されたことから、公園施設の配置替えが必要となっている。 また、セーフコミュニティ推進の取り組みの一環として、地域住民と協働で安全・安心なまちづくりを目指している。	公園施設の機能保全(改修・更新)を行うことで、施設の充実が図られるとともに、公園利用者の利便性・快適性の向上が図られる。	安全・安心かつ快適に利用できる施設改修の要望が寄せられている。また、高齢者や障害者等、誰もが使いやすい公園として、ユニバーサル化への改修要望も寄せられている。

2 事業進捗等(指標等推移)

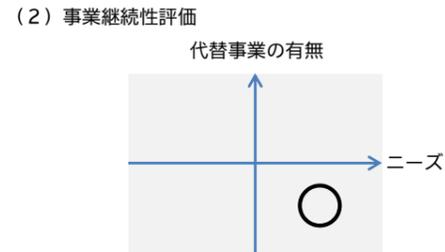
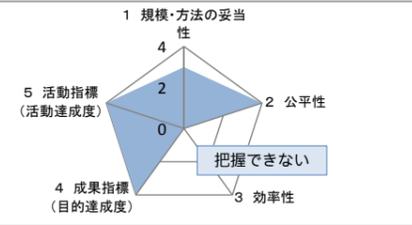
指標名	指標名	単位	第5次総合計画十次実施計画		まちづくり基本指針一次実施計画		まちづくり基本指針二次実施計画		まちづくり基本指針三次実施計画		まちづくり基本指針四次実施計画		まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針	
			2017年度(平成29年度)		2018年度(平成30年度)		2019年度(令和元年度)		2020年度(令和2年度)		2021年度(令和3年度)		2022年度(令和4年度)		中間指標	最終指標
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	2021年度	2025年度
対象指標	改修が必要な公園数	箇所		39		47										
活動指標①	機能が向上した公園の数(単年)	箇所	3	3	0	0	2		2			3		2		
活動指標②	公園施設長寿命化計画策定	件			1	1										
活動指標③																
成果指標①	公園再整備率	%	45	44	44	36	46		51			54		62	47	72
成果指標②	機能が向上した公園の数(累計)	箇所	17	17	17	17	19		21			24		26	24	
成果指標③																
単位コスト(総コストから算出)	改修1箇所あたりのコスト	千円		3,590		-										
単位コスト(所要一般財源から算出)	改修1箇所あたりのコスト	千円		3,590		-										
事業費		千円		8,554		8,748										
人件費		千円		2,217		3,102										
歳出計(総事業費)		千円		10,771		11,850		0		0		0		0		
国・県支出金		千円		0		4,374										
市債		千円		0		0										
受益者負担金(使用料、負担金等)		千円		0		0										
その他		千円		0		0										
一般財源等		千円		10,771		7,476										
歳入計		千円		10,771		11,850		0		0		0		0		0
	実計区分	評価結果		継続	継続	継続	継続									

活動指標分析結果	成果指標分析結果	総事業費分析結果
公園施設について、安全性の確保及びライフサイクルコスト削減の観点から、計画的な改修等に係る取組みを推進し、施設の更新を効果的・効率的に行っていくため、公園施設長寿命化計画を策定した。今後は、計画に基づく改修・更新を行い、施設の老朽化に対する安全対策の強化を図っていく。	公園施設長寿命化計画の策定に伴い、対象となる公園数が増加したことにより、公園再整備率が減少した。今後は、計画に基づく整備を行い、進捗を管理する。	改修が生じなかったため、単位コストは把握できないものの、公園施設長寿命化計画を策定したため、事業費・人件費ともに増加している。

3 一次評価(部局内評価)

(1) 事業手法評価

1 規模・方法の妥当性	3
2 公平性	4
3 効率性	把握できない
4 成果指標(目的達成度)	4
5 活動指標(活動達成度)	4



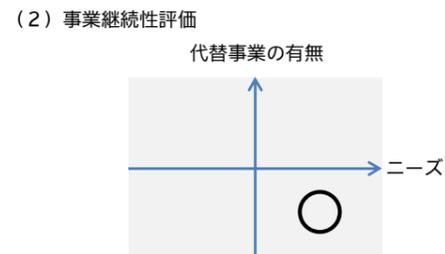
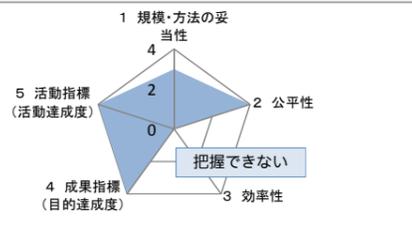
継続

【一次評価コメント】
老朽化した公園施設について、市民のニーズに合わせた改修を進めていくことで、利用者の安全確保や環境改善、また、公園としての機能の保全・向上が図られることから、策定した公園施設長寿命化計画に基づき継続して事業を実施する。

4 二次評価

(1) 事業手法評価

1 規模・方法の妥当性	3
2 公平性	4
3 効率性	把握できない
4 成果指標(目的達成度)	4
5 活動指標(活動達成度)	4



継続

【二次評価コメント】
当該事業は、老朽化した公園施設について、「遊具の安全に関する基準」に基づいた改修・更新を行い遊具の安全確保による快適化を図る事業である。平成30年度においては、「公園施設長寿命化計画」の策定を優先して行ったため、改修した施設がないものの、長寿命化計画の策定により、対象施設が47施設に増加した。対象施設の増加に伴い、公園再整備率が減少しているものの、これは、次年度以降計画的に事業を推進するためである。
今後においては、この47施設を計画的に更新・改修を行うため、継続して事業を実施する。なお、今後「開成山公園」におけるPark-PFIを検討しているが、新たな事務事業として、より一層のPPPの推進を図る必要がある。

1 事業概要

政策体系		広域事業	手段	意図(目的)
大綱(取組)	V「暮らしやすいまちの未来」	-	①屋外広告物の許可(新規、変更、更新等) ②違反広告物への対応(調査、指導、簡易除去、一斉除去等) ③屋外広告業者の指導(登録、講習会の開催等)	屋外広告物及び屋外広告業について必要な規制を行うことにより、良好な景観の形成と風致を維持し、また事故等による市民への危害を防止することを目的とする。
施策	4 豊かなまちなみがあり、誇りと魅力あふれるまち			

事業開始時周辺環境(背景)	現状周辺環境	今後周辺環境(予測)	住民意向分析
平成9年の中核市移行に伴い、屋外広告物に関する事務が県から委譲された。	条例に基づく申請等による適切な規制、誘導を図るとともに、違反広告物についてはパトロール・一斉除去等を実施し、良好な景観形成の推進を図っている。	はり紙、はり札等の違反広告物は、インターネット等の普及により減少が見られるものの、今後も引き続き掲出されと考えられ、広告物の許可申請及びパトロール等を通じて、適正な規制、誘導が必要である。	近年の景観に対する市民意識の向上とともに、はり紙等に対する苦情等も市民から寄せられている。

2 事業進捗等(指標等推移)

指標名	指標名	単位	第5次総合計画十次実施計画		まちづくり基本指針一次実施計画		まちづくり基本指針二次実施計画		まちづくり基本指針三次実施計画		まちづくり基本指針四次実施計画		まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針		
			2017年度(平成29年度)		2018年度(平成30年度)		2019年度(令和元年度)		2020年度(令和2年度)		2021年度(令和3年度)		2022年度(令和4年度)		中間指標	最終指標	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	2021年度	2025年度	
対象指標	屋外広告業者登録数	社		306		325											
活動指標①	屋外広告物許可申請件数	件		834		986											
活動指標②	パトロール日数	日		90		49											
活動指標③	違反広告物簡易除去件数	件		4,146		1,317											
成果指標①	屋外広告物事故件数	件	0	0	0	1											
成果指標②	許可申請に係る手数料収入	千円	15,000	16,354	15,000	16,719	15,000		15,000		15,000		15,000		15,000		15,000
成果指標③																	
単位コスト(総コストから算出)	手数料収入1円あたりのコスト	円		0.7		0.7											
単位コスト(所要一般財源から算出)	手数料収入1円あたりのコスト	円		0		0											
事業費		千円		889		252											
人件費		千円		12,216		12,082											
歳出計(総事業費)		千円		13,105		12,334	0		0		0		0		0		
国・県支出金		千円															
市債		千円															
受益者負担金(使用料、負担金等)		千円															
その他		千円		16,354		16,719											
一般財源等		千円		-3,249		-4,385											
歳入計		千円		13,105		12,334											
	実区分	評価結果		継続		継続											

活動指標分析結果	成果指標分析結果	総事業費分析結果
屋外広告物の許可申請を通じて適正な広告物の掲出を図るとともに、違反広告物に対する市内パトロール及び簡易除去を実施した。	違反広告物は減少傾向にあり、今後も継続して屋外広告物の規制及び誘導を行う。	平成29年度に屋外広告物規制図を作成したため、前年度と比較し事業費・人件費ともに減少した。屋外広告物の許可申請にかかる手数料収入については、適正な規制と指導により、H25:13,799千円、H26:14,410千円、H27:16,109千円、H28:17,218千円、H29:16,354千円と概ね増加傾向であり安定した収入を確保している。

3 一次評価(部局内評価)

(1) 事業手法評価

1 規模・方法の妥当性	4
2 公平性	4
3 効率性	4
4 成果指標(目的達成度)	4
5 活動指標(活動達成度)	4

(2) 事業継続性評価

代替事業の有無

継続

【一次評価コメント】
屋外広告物に対する指導や違反広告物への対応を継続的に実施したことにより、良好な景観の形成が図られていることから、今後も継続して事業を実施する。

4 二次評価

(1) 事業手法評価

1 規模・方法の妥当性	4
2 公平性	4
3 効率性	3
4 成果指標(目的達成度)	4
5 活動指標(活動達成度)	4

(2) 事業継続性評価

代替事業の有無

継続

【二次評価コメント】
屋外広告物の許可や日々のパトロールによる指導等を行い、違反広告物を簡易除去することにより、良好な景観の形成と風致を維持し、屋外広告物事故件数がゼロであるなど市民への危害防止に寄与している。
違法広告物が減少したことに伴い、パトロールの回数も減少しているが、これは、屋外広告物の規制及び誘導の成果と言える。また、歳出を超える手数料収入があることから、効率的な事業の展開及び税外収入の確保に繋がっている。
今後においても、セーフコミュニティの取組みの1つとして、適正な規制を実施し、広告物事故の発生防止に努めながら継続して事業を実施する。